

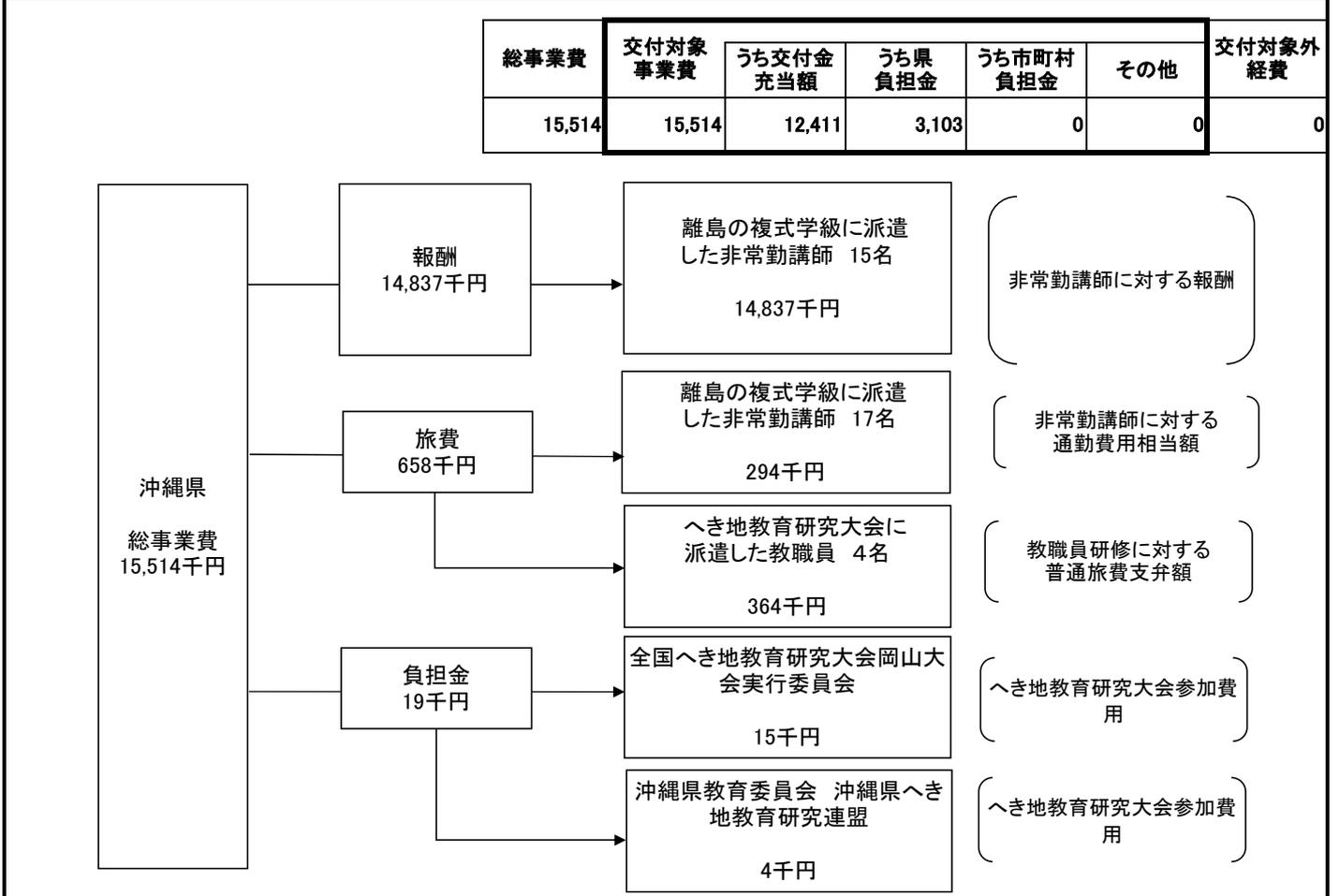
## 令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	179 複式学級教育環境改善事業	新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所 (第4章)	5-(1)-ウ-①				
			離島・へき地における教育環境の充実				
担当部課名	教育委員会 学校人事課	事業実施 (予定)年度	H24~R7	年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-3-(1)	
事業内容	複式学級を有する離島の小学校へ、主要教科(国語・算数・理科・社会・生活・外国語)の授業にあたる担任の補助業務を行う非常勤講師を派遣する。 また、全国へき地教育研究大会及び九州地区へき地教育研究大会へ教員を派遣し、複式学級の指導の質の向上を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )						
予算額・執行額 【単位:千円】		R4年度	R4年度(繰越)	R5年度	R5年度(繰越)	R6年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	26,379		23,809		20,238
		(b) 予算現額	26,379		23,809		17,238
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	▲ 3,000
		(d) 前年度繰越額	0		0		0
		A. 計(b+d)	26,379	0	23,809	0	17,238
	B. 執行済額		21,579		17,843		15,514
	うち交付金充当額		17,264		14,274		12,411
	C. 次年度繰越額		0		0	0	0
	執行率(%) (B/A)		81.8%		74.9%		90.0%
予算の状況の説明		執行率は90.0%であり、不用が生じた主な理由は、派遣非常勤講師の実績減に伴うものである。					
活動目標 (指標) 及び進捗状況	R6活動目標(指標)		進捗状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	複式学級を有する16学級への非常勤職員の派遣	目標	25学級	16学級	16学級	16学級	
		実績	19学級	26学級	23学級	20学級	
	へき地教育研究大会へ、複式学級を有する離島市町村の教職員を派遣	目標	—	4人	4人	4人	
		実績	—	4人	4人	4人	
進捗状況説明	・非常勤講師の人材確保に苦慮しているが、確保できた非常勤講師については、複数の複式学級へ兼務させる等の工夫により、非常勤講師の派遣率は当初計画に対し125.0%となっている。 ・非常勤講師の派遣によって、きめ細かな指導の実施や教材準備・研究の改善、児童の理解・集中力の向上等、学習環境の改善が図られている。 ・へき地研究教育大会へ、複式学級を有する離島市町村の教職員4名派遣し、複式学級教育に関する指導の資質向上が図れた。						
成果目標 (指標) 及び達成状況	R6成果目標(指標)		基準値 (〇〇年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (〇〇年度)
	非常勤講師配置校における学力到達度調査平均正答率が、県平均値を超える割合(全学年、全教科) 100%	目標	—	100%	100%	100%	100%
		実績	—	56.1%	54.3%	69.6%	—
	【H29以前の成果目標】 事業対象の複式学級において教育環境が改善された割合	目標	—	100%	100%	100%	—
		実績	—	162.5%	143.8%	125.0%	—
	達成状況説明	・学力到達度調査平均正答率の成果目標については、県全体の平均正答率を上回る割合が、69.6%達成となっている。 ※令和5年度学力到達度調査の学年・教科は、小5国語・算数、小6国語・算数。 ※非常勤講師配置校での到達度調査(国語・算数)実施学年延べ数は46学年、正答率が県平均を超えていたのが32学年。 ※達成率はそれぞれ小5国語76.9%、小5算数69.2%、小6国語70.0%、小6算数60.0%となっている。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常勤講師の採用について、離島・へき地においては、教員免許保持者の絶対数が少なく、人材の確保が困難である。</li> <li>・加えて、昨今の全国的な教員の不足により、人材難が一層深刻化している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常勤講師の確保に向けて、引き続き地域と連携を図り情報収集を積極的に行うことに加え、非常勤講師の処遇改善等を検討する必要がある。</li> <li>・人材確保ができない場合においても、複式学級の指導の質が保たれるような取り組みを行う必要がある。</li> </ul>

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常勤講師の確保に向けて、引き続き地域と連携を図り情報収集を積極的に行う。</li> <li>・全国および九州で開催されるへき地教育研究大会への参加を継続し、複式学級指導の質の向上に取り組む。</li> </ul>

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 使途の点 検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流 使途の点 検・評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○報酬の支払先である非常勤講師は、すべて離島の複式学級を有する小学校に配置されており、支払先として妥当であり、かつ事業目的に即したものであった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	185 離島読書活動充実事業	新沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所（第4章）	5-(1)-ウ-①				
			離島・へき地における教育環境の充実				
担当部課名	教育委員会 生涯学習振興課（図書館）	事業実施（予定）年度	H27～R13 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動図書館、一括貸出に使用する図書を購入する</li> <li>・図書館未設置町村等に対する図書館サービス（移動図書館、一括貸出）の実施</li> <li>・当該地域の読書活動の拠点となる学校図書館等への支援を行う</li> </ul>						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度（    年度）						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（    ）						
予算額・執行額【単位：千円】		R4年度	R4年度（繰越）	R5年度	R5年度（繰越）	R6年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	16,875		16,024		16,617
		(b) 予算現額	16,875		16,024		17,543
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	0	0	926
		(d) 前年度繰越額					
	A. 計 (b+d)		16,875	0	16,024	0	17,543
	B. 執行済額		16,108		15,836		17,476
	うち交付金充当額		12,886		12,669		13,981
	C. 次年度繰越額		0		0	0	0
	執行率（%）(B/A)		95.5%		98.8%		99.6%
予算の状況の説明		・執行率は99.6%であり、概ね計画的に執行できた。					
活動目標（指標）及び進捗状況	R6活動目標（指標）		進捗状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	広域サービス用図書の充実 図書購入3,010冊、電子書籍120冊	目標	3,503冊	紙媒体3,459冊 電子媒体300冊	紙媒体3,457冊 電子媒体125冊	紙媒体3,010冊 電子媒体120冊	
		実績	3,660冊	紙媒体3,924冊 電子媒体498冊	紙媒体3,468冊 電子媒体217冊	紙媒体3,180冊 電子媒体172冊	
	図書館未設置町村等において一括貸出を行う 140件	目標	130件	140件	135件	140件	
		実績	135件	133件	112件	122件	
	読書活動支援拠点訪問支援2回	目標	-	-	-	2回	
実績		-	-	-	2回		
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書購入冊数は、紙媒体及び電子書籍ともに目標を達成した。</li> <li>・一括貸出については、R5年度よりも件数は増えたが、目標の達成には至らず、未達成となった。</li> <li>・読書活動支援拠点訪問は、与那国町立図書館の状況確認及び粟国村教育委員会との読書イベントについての情報交換を行った。</li> </ul>						
成果目標（指標）及び達成状況	R6成果目標（指標）		基準値（〇〇年度）	R4年度	R5年度	R6年度	目標値（〇〇年度）
	図書館未設置町村等における貸出冊数 25,177冊	目標		32,040冊	33,480冊	25,177冊	
		実績		24,040冊	15,843冊	18,474冊	
	利用者が、身近なところで読書ができる環境が整っていると感じたか（80%以上）を含む、当該事業の効果をアンケートで検証する。	目標		80%	-	80%	
		実績		97.8%	-	96.5%	
	主体的な図書館サービス実施体制を構築した図書館未設置地域：1町村/10町村	目標		1町村	1町村	1町村	
		実績		1町村	0町村	0町村	
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「図書館未設置町村等における貸出冊数」については、昨年度よりも貸出冊数は増加したが、一括貸出の貸出冊数の減少等により、目標値には届かず未達成となっている。</li> <li>・「当該事業の効果をアンケートで検証する」については、地域のニーズの把握に努め、移動図書館時に読みたい本を届けることができ、目標を達成することができた。</li> <li>・「主体的な図書館サービス実施体制を構築した図書館未設置地域」については、読書活動支援として移動図書館、一括貸出、読書活動支援拠点施設訪問による運営相談支援を実施したが、図書館未設置地域の図書館設置の予算及び人員確保が難しい等の理由により、未達成となっている。</li> </ul>						

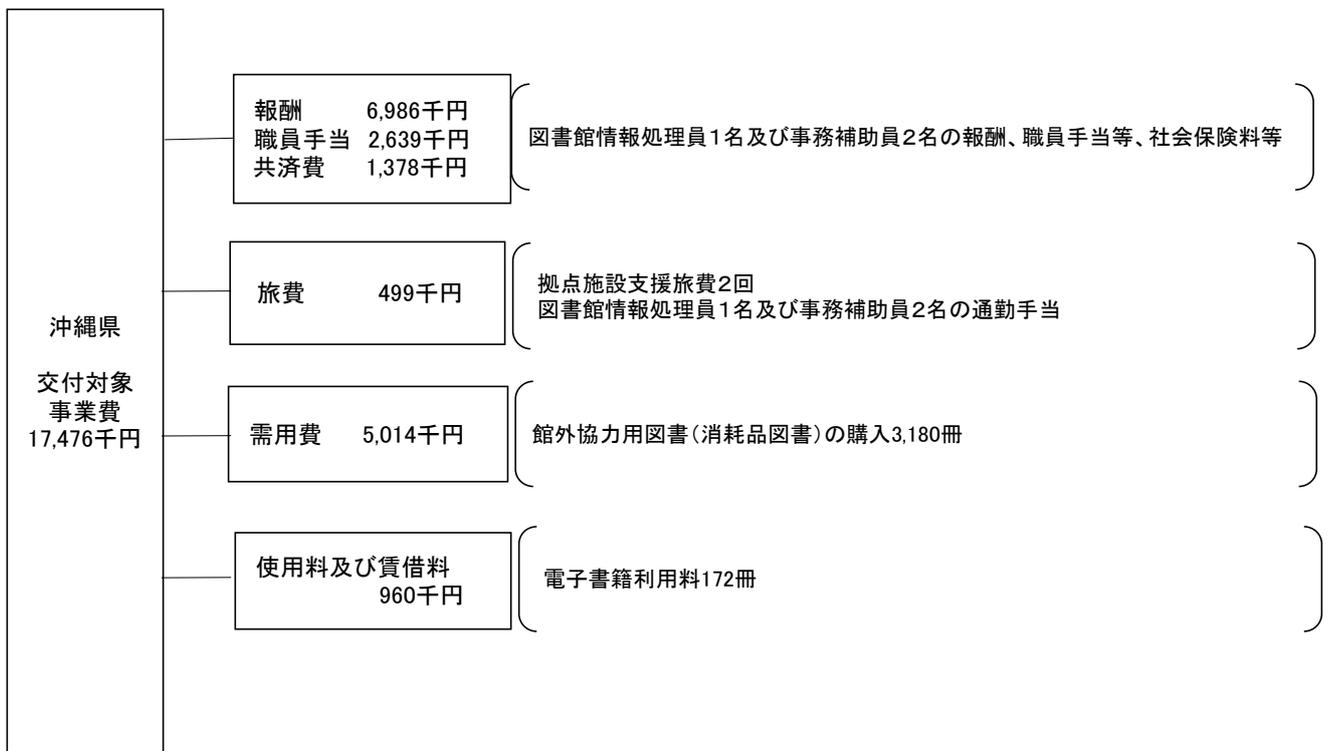
推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
<b>取組の検証</b> ・一括貸出の調べ学習セット(目的別に50冊程度で準備されたセット)に入っている本の内容が古くなっており、学校での授業等で利用しにくい状況となっている。 ・一部の地域で学校が廃校となり、一括貸出の貸出が減少した。 ・一括貸出の件数は増加しているが目標値には届いていない。 ・図書館未設置町村に対して、読書支援を行っているが、図書館設置の予算及び人員確保が難しい等で図書館設置に至っていない。	・調べ学習セットに入っている本の内容を最新の情報の本に更新する必要がある。 ・過去に一括貸出を行っていた団体に利用が無くなっている団体に再度利用をしてもらえるように当該団体のニーズを把握する必要がある。 ・各図書館未設置町村の状況に合った支援を行う必要がある。

**今後の取り組み方針**

- ・調べ学習に関する本を重点的に購入し、当該セットの古い内容の本を最新の情報の本に入れ替える。
- ・一括貸出の利用が無くなった団体のニーズを把握するために訪問等により、ニーズの把握を行う。
- ・図書館未設置町村に図書館設置等に向けた計画の作成を促し、当該計画に沿った支援を行う。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
17,476	17,476	13,981	3,495	0	0	0



資金の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の点検評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○図書購入は入札で行っており妥当と考える。  ○費用・使途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について、額の確定時に支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	